

# 東洋炭素株式会社

## 2018年12月期第2四半期 決算説明資料

---

2018年8月

東洋炭素株式会社

# 1部 2018年12月期第2四半期 決算概要

- |                                     |       |
|-------------------------------------|-------|
| 1. 決算のポイント                          | P. 3  |
| 2. 2018年12月期第2四半期業績 および 2018年12月期予想 | P. 4  |
| 3. 営業利益増減要因                         | P. 5  |
| 4. 製品・分野別売上高                        | P. 7  |
| 5. 地域別売上高                           | P. 11 |
| 6. 設備投資・減価償却費・研究開発費                 | P. 12 |
| 7. 株主還元                             | P. 13 |
| 8. 連結貸借対照表および連結キャッシュ・フロー計算書         | P. 14 |

# 1. 決算のポイント

## ポイント1

半導体市場をはじめ市場環境は全般的に良好で、中国高温ガス炉（HTR-PM）向けの売上計上（約32億円）もあり、売上高は上半期としては過去最高をマーク。

## ポイント2

利益面では、値戻しなど採算性改善の取組みや高付加価値製品の販売強化が奏功。

## ポイント3

下期に向けても半導体市場向けの需要は上向きで、エレクトロニクス分野の売上は大幅増を見込む。その他分野も一部を除き概ね上期水準+αを維持する見込み。

## ポイント4

次世代を見据えた成長への布石として、グローバルで「製造プロセスの改善」「開発体制のさらなる強化」「ガバナンスの改善」に着手。品質と生産性の一層の向上を目指すとともに盤石な基盤づくりを推進。

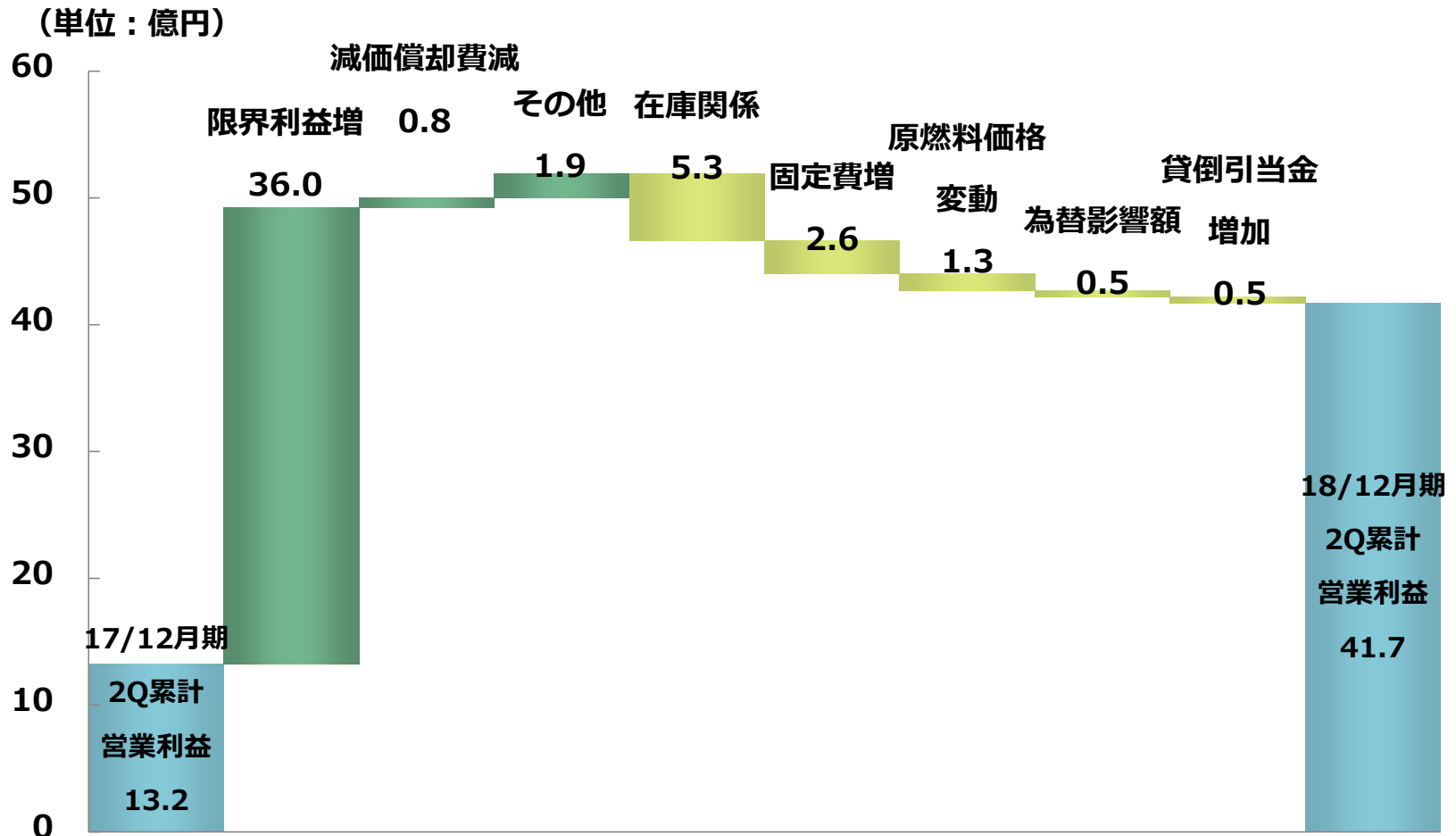
## 2. 2018年12月期第2四半期業績 および 2018年12月期予想

(単位：百万円)	17/12月期		18/12月期				
	2Q累計	通期	2Q累計	前年同期比		通期予想	前期比
売上高	16,564	35,240	22,056	+ 5,491 / + 33.2 %		41,000	+ 5,759 / + 16.3 %
営業利益	1,326	3,708	4,179	+ 2,853 / + 215.1 %		6,500	+ 2,791 / + 75.3 %
(売上高営業利益率)	8.0%	10.5%	18.9%			15.9%	
経常利益	1,130	3,719	4,092	+ 2,962 / + 262.2 %		6,400	+ 2,680 / + 72.1 %
(売上高経常利益率)	6.8%	10.6%	18.6%			15.6%	
親会社株主に 帰属する 当期純利益	1,129	3,020	3,055	+ 1,925 / + 170.5 %		4,700	+ 1,679 / + 55.6 %
1株当たり 当期純利益 (円)	54.47	145.52	146.11			224.64	
為替レート	112.4円/\$ 121.6円/€ 16.4円/人民元	112.2円/\$ 126.7円/€ 16.6円/人民元	108.7円/\$ 131.6円/€ 17.1円/人民元			(下期) 110円/\$ 125円/€ 17.0円/人民元	
ROE		5.2%				7.5%	

### 3. 営業利益増減要因

(2017年12月期2Q累計 vs2018年12月期2Q累計)

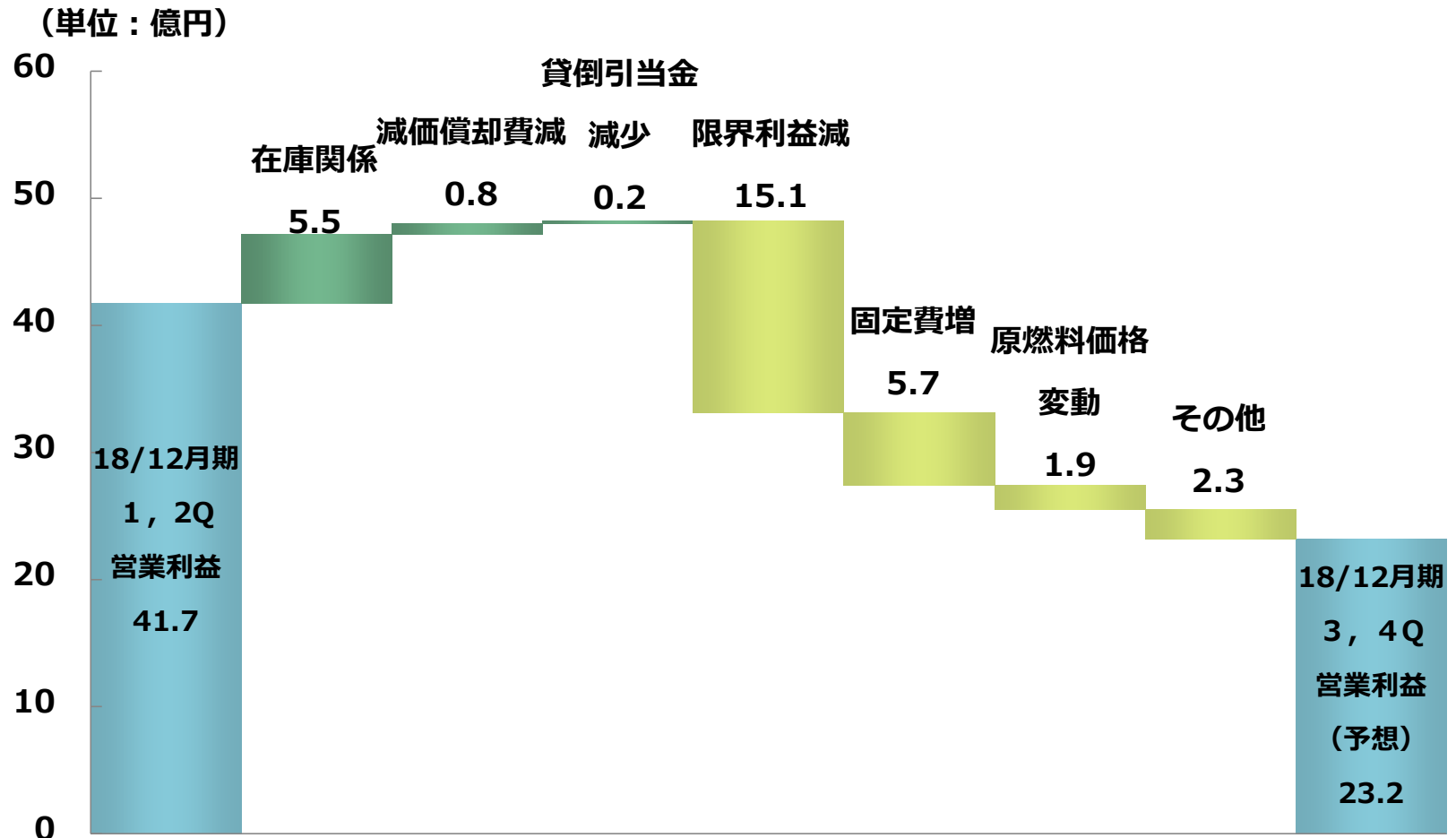
✓ 売上高の増加（中国高温ガス炉向け含む）・採算性改善・高付加価値製品の販売強化が限界利益増に大幅貢献



### 3. 営業利益増減要因

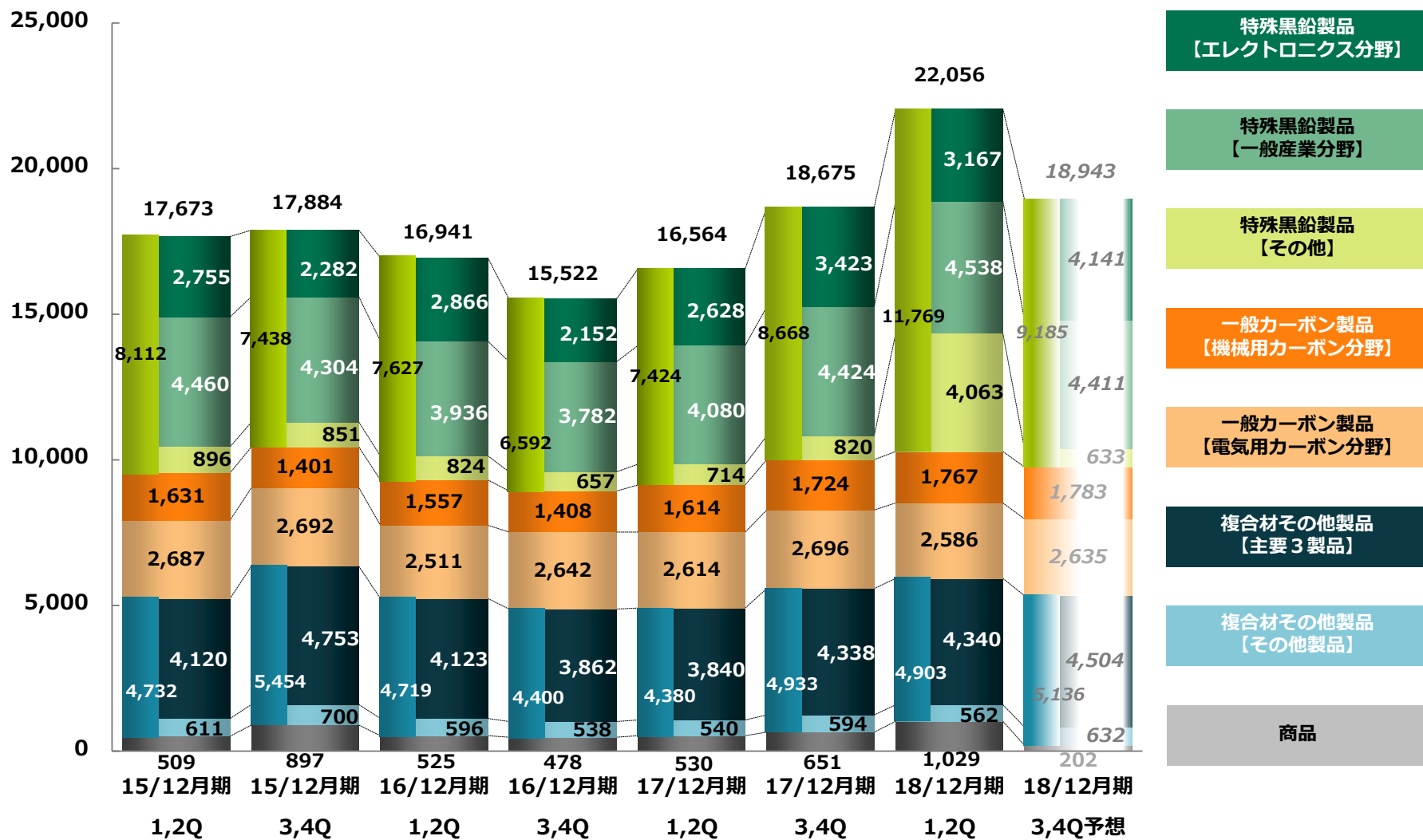
(2018年12月期1、2Q vs 3、4Q)

✓ 在庫積増しによるプラス要因あるも、中国高温ガス炉の売上分目減りに加え  
固定費増（約半分が人件費）および原燃料価格も影響



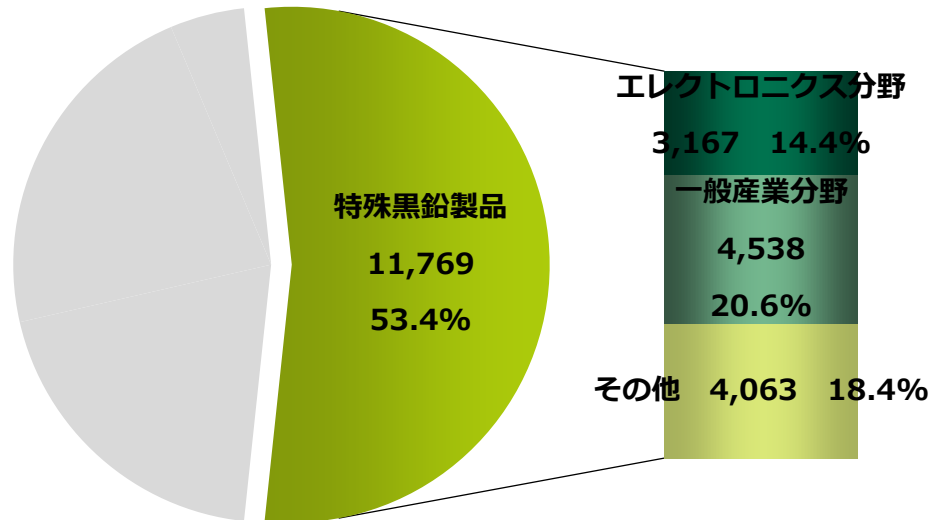
# 4. 製品・分野別売上高

(単位：百万円)



## <特殊黒鉛製品>

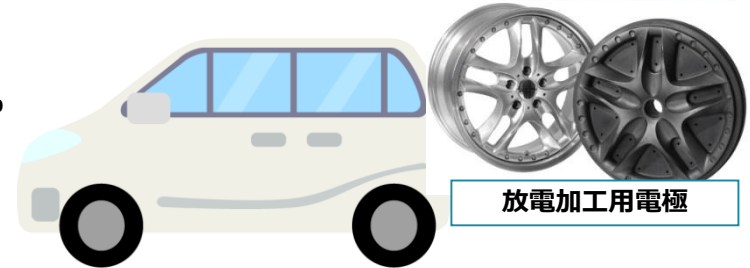
(単位：百万円)



ホットプレス用鑄型  
(カットモデル)



単結晶シリコン製造装置



放電加工用電極

## ポイント

### 【エレクトロニクス分野】

単結晶シリコン製造用は、結晶メーカーの増産計画（300mm）にともない、大型黒鉛素材を使用する炉内パーツの引合いが増加。また、シリコン半導体の好調に支えられイオン注入装置向け黒鉛部品も好調。現在、供給がタイトなためC/Cコンポジットへの置き換え需要も増加中。

### 【一般産業分野】

放電加工用は、航空機や自動車向けが堅調なほか、連続鑄造用も電線などのインフラ向けや、ICリードフレーム等の半導体向けが好調に推移。

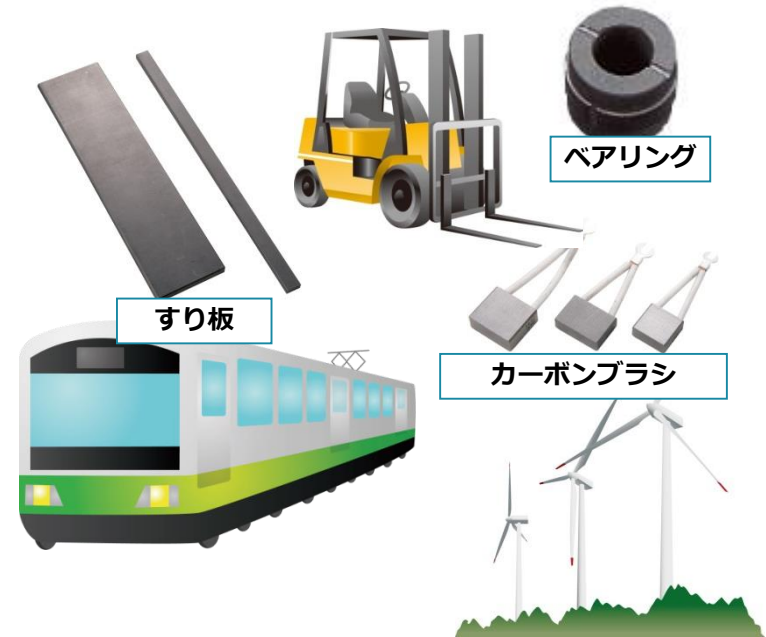
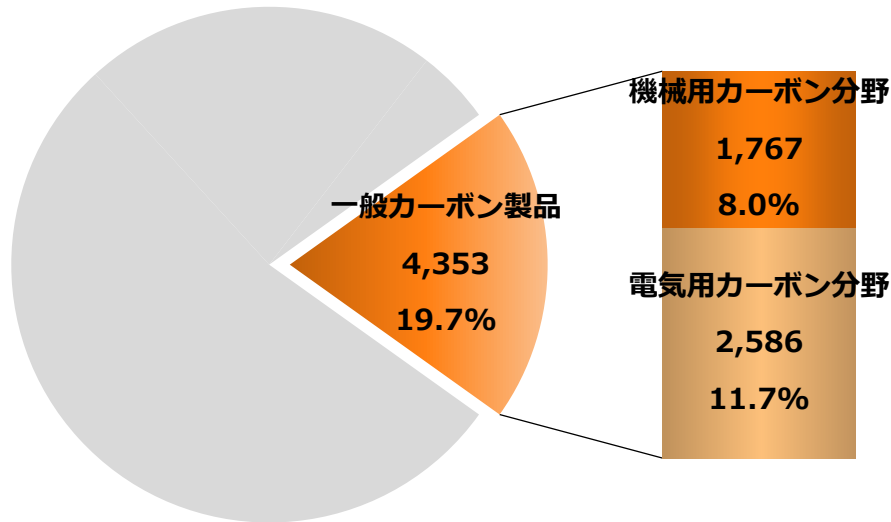
### 【その他】

第1四半期において中国高温ガス炉（HTR-PM）向け黒鉛材の検収が完了し、3,216百万円を売上計上。



## <一般カーボン製品>

(単位：百万円)



## ポイント

### 【機械用カーボン分野】

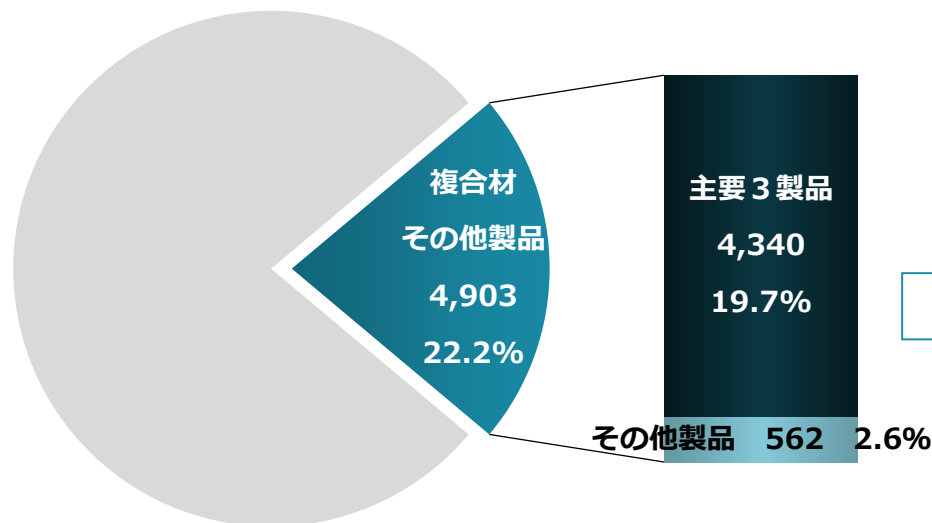
軸受・シールリングは、生産設備で使用される真空ポンプ・コンプレッサー向けが堅調なほか、中国をはじめとする新興国での生活様式の変化にともない、エアコンや給湯器向けが好調。パンタグラフ用すり板は、これまでの国内向け中心から海外向け（新交通システム、中国地下鉄）への展開を実施。

### 【電気用カーボン分野】

小型モーター用カーボンブラシは、需給の調整段階にあり売上高は横ばい。今後は、産業向けなどの大型モーター用カーボンブラシを含め、電気用カーボン分野全体での収益向上を図る。

## <複合材その他製品>

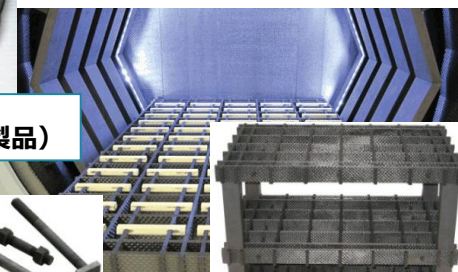
(単位：百万円)



黒鉛シート製品



MOCVDサセプター  
(SiCコーティング黒鉛製品)



三段トレイ  
(C/Cコンポジット製品)



ボルト・ナット  
(C/Cコンポジット製品)

## ポイント

### 【主要3製品】

SiCコーティング製品は、Si半導体の好調によりSi-Epi用サセプターが好調。また、SiC半導体向け結晶成長用黒鉛部品やSiC-Epi装置向けに加え、次世代機向けの需要が急速に伸び、LED用（MOCVD装置用サセプター）も順調に推移。

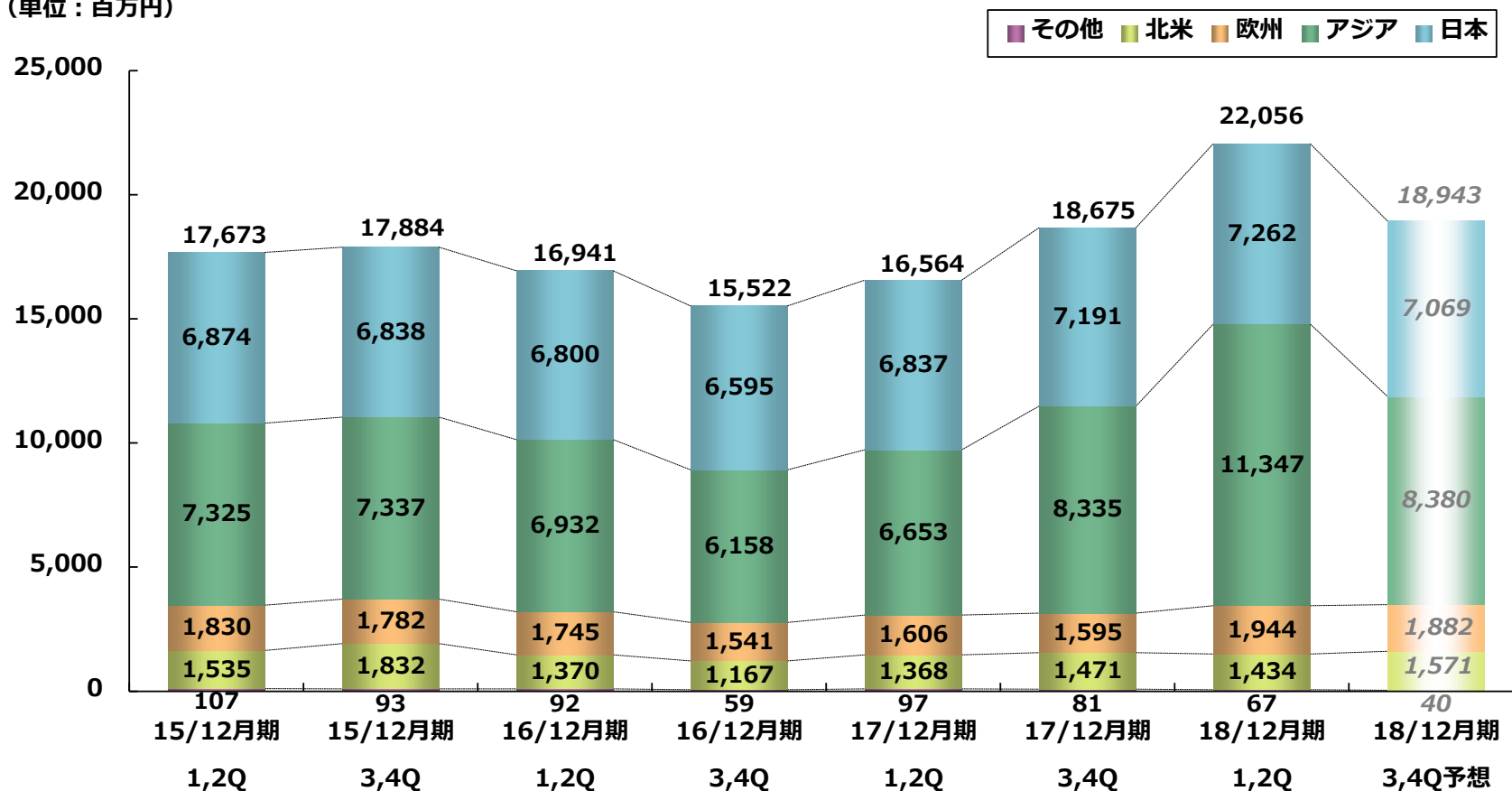
C/Cコンポジット製品は、各種ウェハー製造装置向け炉内パーツの好調継続に加え、航空機や自動車のギア、ミッションなどの耐摩耗性・強靱性が要求される部品の浸炭処理を行う熱処理炉向けも増加傾向。

黒鉛シート製品は、自動車用のパッキンやガスケットなどのシール材や、金型や半導体製造用部品の保護材が堅調。今後は、リチウムイオン2次電池などの電気デバイスや医療機器、包材向けの新需要への採用に向け販促強化中。

## 5. 地域別売上高

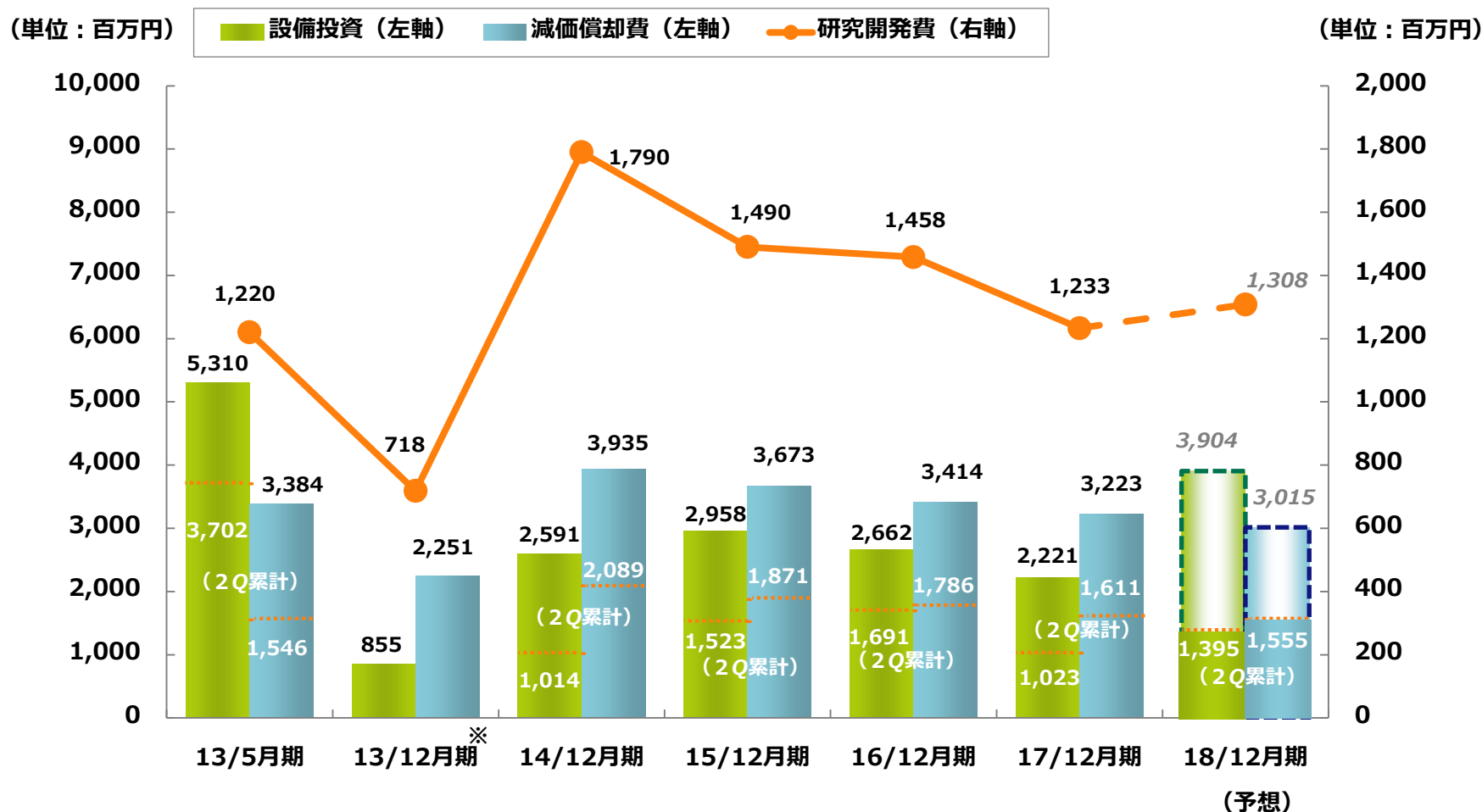
- ✓ 半導体市場の旺盛な需要に牽引され日本・アジアが好調
- ✓ 加えて中国の高温ガス炉（HTR-PM）向け売上計上により上期アジア大幅増

(単位：百万円)



## 6. 設備投資・減価償却費・研究開発費

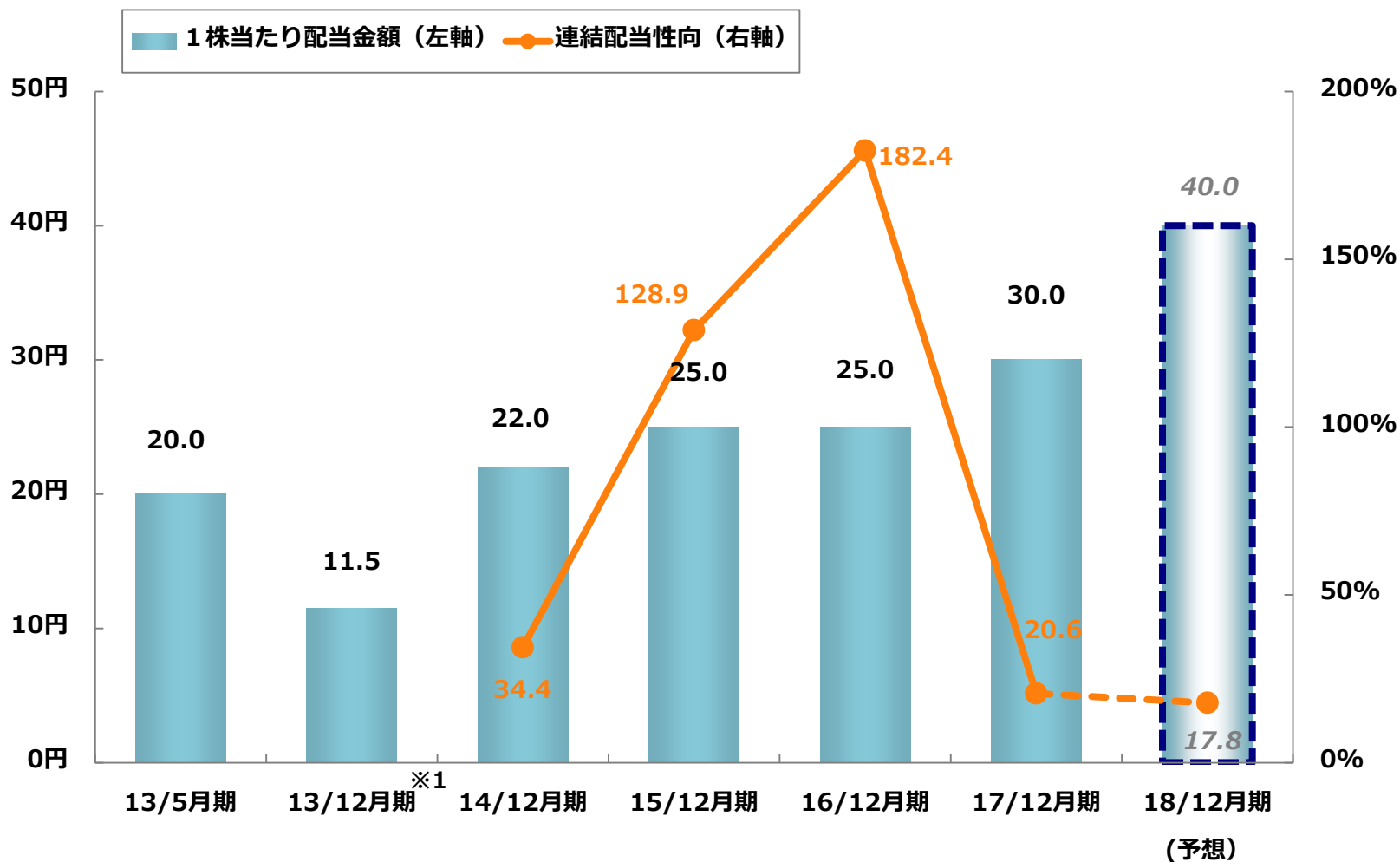
### ✓ 既存コア事業拡充に向け戦略投資実行中



※ 2013年12月期より決算期を5月31日から12月31日に変更いたしました。このため2013年12月期は7ヶ月（一部子会社は9か月）の変則決算となっております。

# 7. 株主還元

- ✓ 資本効率・戦略投資とのバランスを勘案しつつ株主還元強化
- ✓ 今期10円の増配を予定



※ 1. 2013年12月期より決算期を5月31日から12月31日に変更いたしました。このため2013年12月期は7ヶ月（一部子会社は9か月）の変則決算となっております。

※ 2. 2013年5月期および2013年12月期は当期純利益がマイナスであったため、連結配当性向については記載していません。

## 8. 連結貸借対照表および連結キャッシュ・フロー計算書

連結貸借対照表	(単位：百万円)			連結キャッシュ・フロー 計算書	(単位：百万円)	
	17/6月末	17/12月末	18/6月末		17/12月期 2Q	18/12月期 2Q
資産合計	69,559	74,223	73,358	現金及び現金同等物 の四半期末残高	4,915	5,058
受取手形及び売掛金	12,302	14,255	14,934	現金及び現金同等物 の増減額	▲ 1,509	▲ 1,302
たな卸資産	15,728	15,471	13,963	現金及び現金同等物 の期首残高	6,424	6,361
有形固定資産	24,703	24,642	24,278	営業活動によるCF	3,236	2,751
負債・純資産合計	69,559	74,223	73,358	投資活動によるCF	▲ 3,797	▲ 2,847
有利子負債	1,619	1,194	645	財務活動によるCF	▲ 925	▲ 1,057
資本金	7,711	7,810	7,906			
純資産	57,998	60,986	62,835			
自己資本比率	82.2%	81.0%	84.6%			

## 2部 成長の方向性

---

- |                        |       |
|------------------------|-------|
| 1. 次世代を見据えた生産体制の強化     | P. 16 |
| 2. 高付加価値製品・成長分野への積極展開  | P. 17 |
| 3. グローバルマネジメント・ガバナンス強化 | P. 20 |

# 1. 次世代を見据えた生産体制の強化

✓ AIや自動化を取り入れた次世代型生産設備を主要拠点に順次導入予定  
長期的ビジョンに立ち、生産性・人・環境に配慮した技術改革・強化を実行中

✓ グローバルレベルでの生産技術力の底上げにより、カバーしきれていない  
海外市場を中心に各用途・分野のシェア拡大に注力

## 欧州

- 機械用カーボンの生産能力拡充
  - ・ドイツ子会社の自動車部品向け強化中 (投資額約11億円)
- フランス・イタリアでも設備強化により高付加価値分野への対応体制整備

ドイツ  
フランス  
イタリア

## 東アジア

- 売上高の約3割を稼ぎ出す中国各工場への最新設備導入により一層の生産力強化を図る

韓国  
★ 日本

## 北米

- 市場ニーズを踏まえ最適地での供給体制構築を検討中 (アメリカ)
- 自動車産業向けを中心に加工・販売を手掛ける (メキシコ)

アメリカ

メキシコ

## 東南アジア

- 域内の加工はタイ・インドネシアにて手掛けており、シンガポールやマレーシアもカバー

タイ  
中国  
台湾  
シンガポール  
インドネシア

## 日本

- 高付加価値製品の能力拡充
  - ・EV向けの拡大見据え黒鉛シート製品の生産能力2割増強 (2018年6月完了 投資額約6億円)
  - ・LED、半導体向け (次世代含む) の需要増加に備えSiCコーティング黒鉛製品の生産能力を1.5倍に (2020年稼働予定 投資額約25億円)

- ★ 本社 (素材製造・加工・販売)
- 加工・販売拠点
- 販売拠点



### 特殊黒鉛製品

用途

関連市場

市場見込・ターゲット・取組み

#### 放電加工電極

(一般産業分野)



金型製造

自動車、半導体、家電

- ・自動車部品・家電部品の製造における仕上工程、精密加工部分での高機能材の採用を中心に成長を見込む。
- ・自動車生産が増加傾向にある東南アジア・メキシコの成長に期待。
- ・今後は、微細加工向けの黒鉛材や超硬対応可能な銅含浸材などの高機能材を強化し、微細な半導体・スマートフォン向けから大型の航空機エンジン向けまで用途をさらに拡大。

#### 連続鋳造用ダイス (一般産業分野)



伸銅

半導体、家電、自動車、建築

- ・主に銅合金の連続鋳造用として黒鉛ダイスが用いられる。
- ・ICリードフレーム等に使用されるリン青銅は先進国、建築や一般産業用の黄銅・青銅などは、中国・東南アジアが主な生産地域。
- ・今後は、インフラ系や海外シェアの拡大を強化。

### 一般カーボン製品

用途

関連市場

市場見込・ターゲット・取組み

#### 軸受、シールリング、ベーン パンタグラフ用すり板 (機械用カーボン分野)



生産設備、輸送機械器具

鉄道、新交通システム

#### 軸受、シールリング、ベーン

- ・国内外の生産設備向け真空ポンプ、コンプレッサーやエアコン、給湯器向けの需要増加に対応。
- ・ドイツ子会社の自動車部品向け強化

#### パンタグラフ用すり板

- ・国内は、J Rのほか首都圏の私鉄、新交通システム向けを展開。海外は、中国をはじめ鉄道、地下鉄および新交通システムの普及にあわせて、採用が増加。
- ・グローバル展開を見据え、含浸設備・HIP炉の導入投資を計画。
- ・今後は、新幹線をはじめ高速鉄道用の素材開発および欧州規格の適合品開発に着手。

#### 産業用ブラシ (電気用カーボン分野)



各種モーター

発電、鉄道、製鉄、製紙

- ・産業向けの大型モーター用カーボンブラシのシェア拡大に向け国内外にて展開推進。
- ・大型用以外にも、電動工具、掃除機向けの小型モーター用も含めグローバルでストラテジーを再構築し、収益向上を図る。
- ・鉄道用、自然エネルギーなどインフラ系への参入により、長期継続需要の取り込みを目指す。

### 複合材その他製品

用途

関連市場

市場見込・ターゲット・取組み

#### サセプター (SiCコーティング黒鉛製品)



半導体製造装置用

半導体・LED

- ・IoT化にともなうセンサーの活用やビックデータ化、自動車の電子システム化の普及にともない、Si半導体、SiC半導体、LED分野向けSiCコーティング黒鉛製品の需要が急増。
- ・第一弾の国内投資（25億円）を決定したほか、海外生産拠点への設備投資も検討。国内をはじめアジア、アメリカの装置メーカーやエンドユーザーなど、グローバル展開を実行。

#### ガスケット・保護材 (黒鉛シート製品)

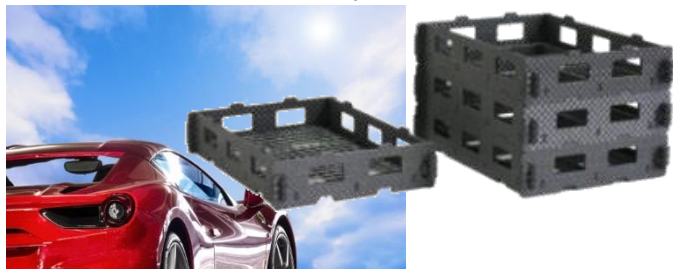


各種モーター

自動車・半導体

- ・自動車向けは、独自技術の高純度グレードにより圧倒的な優位性を確保。
- ・高純度技術を生かし、半導体や電気化学向けなど高付加価値用途への拡大を目的に、新工場の稼働を開始。

#### 工業炉炉内部材 (C/Cコンポジット製品)



熱処理炉、真空炉

自動車、航空機

- ・熱処理用途において、従来の金属製品と比べ、C/Cコンポジット製品は、生産工程の自動化対応、省エネ化などの高評価を受け、置換え需要が増加。
- ・自動車産業の旺盛な欧米・中国・東南アジア・メキシコなどグローバルに展開するとともに、航空機部品の熱処理用途にも注力。

### 3. グローバルマネジメント・ガバナンス強化

✓世界全16拠点のマネジメント・ガバナンスを本社管掌にて一元管理  
することにより強固な管理体制を構築

#### ①子会社管理体制の強化

- ・子会社管理管轄部署の組織改編と人員増強
- ・本社人員による子会社管理の強化



#### ②子会社管理基準の見直し

- ・グループ管理体制の改善プロジェクトスタート  
→マネジメントブック（グローバル共通管理基準）による子会社マネジメントの標準化
- ・グローバル成長戦略の見直し

# TOYO TANSO

Inspiration for Innovation

**(注) 本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、開示時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでいますので、実際の業績は、業況の変化などにより異なる場合があります。**

〈お問合せ先〉

東洋炭素株式会社 広報・IR担当

TEL : 06-6472-5811(代)

E-mail : [ir@toyotanso.co.jp](mailto:ir@toyotanso.co.jp)